

男女共同参画情報誌

しよいんと

しよいんと

Vol.18

2011年・春

- コーヒー片手に男と女の美学について語り合いませんか？
- 時代の先がけ「女尊男尊」



周南市

コーヒー片手に男と女の美学について語り合いませんか？

コーヒーなど飲みながらリラックスした雰囲気の中、男女共同参画について参加者全員で考えてみました。
それでは小川先生、お願いしま～す。

H22.11.6 ホテルサンルート徳山

Let's talk about gender equality over a cup of coffee.



ファシリテーター Facilitator



まちづくりの哲学者 Public & Political Philosopher

小川仁志

徳山工業高等専門学校准教授
商社・フリーター・市役所職員を経た異色の哲学者

今回は男女共同参画について考えるというのが主旨でしたが、切り口が「男と女の美学」ということでもあったため、まずは男と女の違いについて確認することから始め、そして徐々に核心に迫っていき、最後は性分化疾患、つまり男でも女でもない性を先天的にもつ人をどう受け止めるかという問題にまで言及することになりました。

具体的には以下の10の質問を用意し、順に問いかけることで、対話を進めていきました。

- 問1 男であることに満足していますか？
女であることに満足していますか？
- 問2 男とは何か？ 女とは何か？
- 問3 男の美学とは？ 女の美学とは？
- 問4 どうして両者は対立するのか？
- 問5 社会はどちらに有利にできているのか？
- 問6 なぜ両者は惹かれあうのか？
- 問7 そもそも男女の区別は必要か？
- 問8 同性愛をどう考える？
- 問9 性同一性障害をどう考える？
- 問10 性分化疾患をどう考える？



哲学に答えはあるのか？

答えはなかなか見つからないし、

今日出た答えはベストアンサーかもしれないけれど
ファイナルアンサーではない。

みんながずっと考え続ける…ことに意味がある。

小川仁志さんからのメッセージ

多くの参加者が、男と女についてのステレオタイプな像を頭に思い描いており、両者の社会における役割分担をやむなしとみていることがわかりました。とりわけそれは生物学的特質に基づく取り扱いの差異です。

ただ、そんな中でも、かつては男性の領域とされた職域に女性が進出したり、時代が変わってきている事実も同時に認識していたようです。同性愛や性同一性障害についても、違和感はあるが理解を示すべきという意見が多く出ました。また、性分化疾患についても、「第三の性」を認めているのではないかと多くの声が多くを占めました。

この点に男女という区別を越えて、多様性を認め、一人の人間として尊重することの意義と希望を垣間見ることができたような気がします。大切なことはお互いの差異を理解し、それぞれの人間がやりたいことをやれる社会を、共に築き上げていくことなのです。一方的に話を聴く講演とは異なり、双方向の対話を軸とした企画だけに、参加者はより主体的に自分のこととしてこれらの問題を考える機会をもてたことと思います。

今回の対話が、男女の問題、そして人権の問題に関心をもつ一つのきっかけになったとすれば、このうえない幸せです。



参加者からひとこと

難しい内容もあったので発言はできなかったけど聞いただけでも参考になった。(10代 女性)

普段は考えないことを考えることができ、とてもおもしろかった。(20代 男性)

あまり知らなかった性分化疾患などのことを考えることができよかった。(20代 女性)

おもしろかったです。たくさん意見が出てすごいいいと思いました。先生はさすがに、まとめたり認めたりが上手です。(40代 女性)

考えるきっかけとなった。ハーフタイムが欲しかった。(長時間で不慣れなため) (50代 男性)

人権の視点と新しい切り口で考えることができ有意義であった。10問での討論なら、少し時間が不足したかな？… (50代 女性)

設問がわかりやすく、自分の考えを正直に引き出してよかった。色々な考え、意見が出てよかった。このような学びの機会があちこちであることを希望。(50代 女性)

性同一性障害に関しては、もっと興味を持つ必要があると思いました。(60代 男性)

どんな内容を話し合うのかと思っていましたが、とても今からの将来大切な内容だったと思います。(60代 女性)

人生が2度あるとしたら女である私は今度は男に生まれてみたいとも思いますが、1度であればまた子供を生んで育てたいと思います。男と女がいるから社会が成り立っていると思います。良い社会は男女で作られると思います。年をとると人間として成長して、人生を後悔しないよう幸せに終わりたいと思う。またこういう会があれば出席してみたいと思います。(70代 女性)

女尊男尊

時代の先がけ

しげ たね 宮本重胤が実践した 男女共同参画とは？



重胤さんてどんな人？

周南市鹿野にある二所山田神社の宮司だったんです。重胤さん（1881年～1959年）は、日本ではまだ男尊女卑が当たり前だった時代に、「男尊女卑でもなく女尊男卑でもなく女尊男尊、男女に関係なく能力を活かすことが大切」と主張し、明治39年から「女子道」という機関紙を35年間発行し続け、まさに私たちが目指している女性の自立と社会参画を100年以上前から、訴え続けてきた人なのです。



機関誌「女子道」

重胤さんてどんなことをしたの？

「女子道」発行のための資金の捻出や女性の経済的自立のために、様々なアイデアを出しそれを実践しました。安く買い取られていたわさびを地元で加工し、びんに商標を貼って箱につめ、高級感を出して高く売る方法を考えました。その他にも

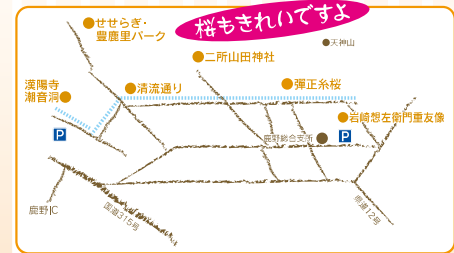
- おみくじの作成
- 自動みくじ箱の発明
- 託児所や林間学校の設置
- 天気予報
- 神前結婚式を広め、式のマニュアル作成



などなどたくさん...

このような活動には、夫婦について「夫が妻を養うべきはずのものでもなければ、また妻が夫を養うべきものでもない。夫婦は実に共同生活でなければならぬ。夫婦共稼ぎ、これが神様の大御心にかのうた真理である。」という重胤さんの信念が貫かれています。

エンパワーメント（力をつけること）支援を実践する...まさに現代の男女共同参画そのものですね。



もっと知りたい!!

周南市鹿野の観光名所「清流通り」に面した二所山田神社の宮司、宮本公胤さん（重胤さんのお孫さん）を是非おたずねください。

荘厳さが漂う二所山田神社の辺りの散策は、心の癒しに最適です。公胤さんのお話を伺っていると、普段の忙しさから開放され、穏やかな時間がゆっくり流れれていくことでしょう。それからお帰りは「わさび漬け」のおみやげも、どうぞお忘れなく♪



2カ月のお留守番

男女共同参画推進員が作った紙芝居です。上演もしますよ。

こんな内容ですーあらすじー

つよし君は小学3年生。家族は共働きの両親と中学1年生の姉の4人家族。

お母さんは、勤め先から正社員にならないかと言われ悩んでいました。

考え事をしながらの帰り道、車を避けようとして転んでしまい、足を骨折。2ヵ月入院することになってしまいました。

次の日から、つよし君が家に帰っても誰もいません。朝の皿やコップはそのまま、パジャマも脱いだままです。掃除や洗濯のことで喧嘩になったり、お父さんは、毎日野菜炒めばかりを作って子ども達から文句を言われてしまいました。慣れない事で家族みんな大混乱です。

そんな時、料理、洗濯、掃除が上手なおじいちゃんがやってきて、おいしい料理を作ってくれました。

3人は、今までお母さんに頼っていたんだと反省をし、子どもたちもお手伝いをすすんでやるようになりました。つよし君は、洗濯物をたたむのが上手になり、お父さんは、おじいちゃんのお陰で料理のレパートリーが増えました。

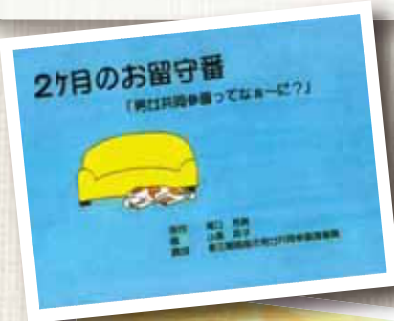
お母さんの退院の日、家族はケーキを囲み、いろいろな話をしながら、お母さんはこれなら大丈夫と、正社員になることを決心しました。

お母さんは怪我もすっかり良くなり、入社する日、明るい気持ちでベダルをこいでいきました。



使ってみたい方は

周南市男女共同参画室 TEL0834-22-8205 までご連絡ください。



「赤ちゃんの駅-Baby Station」事業スタート!

平成22年9月1日(水)事業開始

「赤ちゃんの駅-Baby Station」とは?

授乳やオムツ替えなどで立ち寄ることができる公共施設を「赤ちゃんの駅-Baby Station」として登録し、利用者が気軽に立ち寄ることができるように目印となるシンボルマークを掲示することで、乳幼児を抱える保護者の子育てを支援する取り組みです。

「赤ちゃんの駅-Baby Station」について

赤ちゃんの駅-Baby Station
シンボルマーク



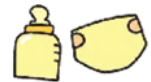
- 利用者 乳幼児(概ね3歳未満)連れの保護者で、授乳またはオムツ替えを目的とします。
- 内容 次の①、②の両方または一方を提供します。

- ①授乳の場の提供
- ②オムツ替えの場の提供

★施設によって提供できるものは異なります。シンボルマークの哺乳瓶、オムツのマークでわかります。

哺乳瓶⇒授乳ができるところ

オムツ⇒オムツ替えができるところ



(準)「赤ちゃんの駅-Baby Sub Station」について

(準)赤ちゃんの駅-Baby Sub Station
シンボルマーク



- 内容 授乳やオムツ替えができる場所が常設されていない、常時利用はできないため「赤ちゃんの駅-Baby Station」として登録できなかったが、お申し出をいただければ提供できる施設を「(準)赤ちゃんの駅-Baby Sub Station」として登録し、シンボルマークを掲示します。

★利用される場合は、お気軽にお申し出ください。

「赤ちゃんの駅-Baby Station」事業実施箇所

	施設数	施設名
赤ちゃんの駅-Baby Station	35	徳山保健センター、新南陽ふれあいセンター ゆめプラザ熊毛、コアプラザ鹿野など
(準)赤ちゃんの駅-Baby Sub Station	18	榑浜支所・公民館、新南陽公民館 三丘徳修館、鹿野図書館など

2ヶ月のお留守番



赤ちゃんの駅



ひとりで悩まないで 相談して

どうぞ、
ご相談
ください



どのような理由があっても、暴力は決して許されるものではありません。それは、パートナーへの重大な人権侵害であることに気付いてください。

配偶者からの暴力に関する相談窓口

配偶者暴力相談支援センター

(山口県男女共同参画相談センター)

- ・相談専用ダイヤル ☎ 083(901)1122
- ・DVホットライン ☎ 0120-238122 (緊急用)

最寄りの警察署

- ・周南警察署 ☎ 0834(21)0110
- ・光警察署 ☎ 0833(72)0110

山口地方方法務局周南支局

☎ 0834(28)0244

こども家庭相談室

☎ 0834(22)8452

DV相談ナビを開設

ここに電話
0570-0-55210 (有料)

配偶者からの暴力(DV)に悩んでいる人に相談窓口を案内する専用ダイヤルを内閣府男女共同参画局が開設しました。自動音声案内に従い、居場所を指定すると、配偶者暴力相談支援センターなど登録されている相談窓口の中から、最寄りの相談先の電話番号や相談受付時間などが紹介されます。(検索方法は下記)

自動音声案内による検索方法

- ①郵便番号検索：郵便番号の上3桁を入力
- ②地域区分検索：ガイダンスに従い都道府県の別を指定

編集後記

今回から編集に参加させて頂きました。色々な所に取材に行きとても勉強になりました。たくさんの方に楽しんでもらえる様に「じょいんと」づくりのお手伝い頑張ります〜p(^^)q 宜しくお願ひします。

藤井 美里

①遡ること100余年、鹿野発の女性自立への提言・励まし(女子道を興した宮本重胤)②“コーヒー片手に”同性をめぐるホットな哲学論議(ファシリテーター・小川仁志)③家庭内での両性の役割分担の見直し(紙芝居「2ヶ月のお留守番」)の紹介が、今号の三つの柱。共通するのは「利他志向」!

藤本 隆春

表紙の写真、いつもは樹脂粘度だけで作っていましたが、今回は羊毛を使ってウサギとネコを作ってみました。我が家のペットたちです。おいしいイチゴに囲まれ幸せそう〜♪

古木 緑

「じょいんと」一年生として今回より初参加させて頂きました☆勉強不足で知らないことばかりですが、「じょいんと」を通して小さなことから少しずつ成長していきたいと思ひます☆☆☆

村上小百合

時代に先駆けた男女共同参画の思想が、こんなに身近にあったという事に感動します。重胤さんの思いは、今どのくらい実を結んでいるのでしょうか。改めて、自分の出来る事から実践したいと思ひました。

渡邊 良子

問い合わせ先

〒745-8655 周南市岐山通1-1 周南市人権推進課男女共同参画室
☎0834(22)8205 ☎0834(22)8468 Eメール jinken@city.shunan.lg.jp